



2024～2025年度 山形東ロータリークラブ会報

第1647回例会 2025年2月7日(金)

点鐘／12:30 S.A.A.／工藤 裕史

ロータリーソング/国歌、四つのテスト 会場/ホテルメトロポリタン山形

Rotary
第2800地区



RIテーマ RI会長:ステファニー A アーチック
ロータリーのマジック

地区目標 ガバナー:芳賀 康雄
ロータリーにもっと誇りをそじて学びDEIの心を持って行動実践しよう

クラブテーマ 会長:深瀬 俊路 幹事:菅生 勝則
「シン・ロータリークラブ ピア・ロータリアン ハブ・ロータリー」

会長挨拶



深瀬会長挨拶

こんにちは。2月最初の例会を迎えました。2月は「如月」とも呼ばれます。その由来は「寒さに耐えかねて今着ている衣服に更に重ね着をする」ということのように。他に「梅見月」という呼称もあります。これは、雪の中で梅が芽吹き始めることに因んでいます。

そういえば、3日が立春でしたね。「節分」を境に春めき始め、18日は「雨水」で雪から雨が多くなる頃合いとされています。

山形の2月は、「如月」が一番ふさわしい呼び方に感じるのは、私だけではないでしょう。

お隣の中国は春節を迎え、山形の街にもインバウンドの旅行者が目に見えて増えてきました。これまでは私たちが国外に赴くことを国際化という言葉にイメージしましたが、日本国内に居ながら国際交流をしていかなければならない時代となりました。

私は民生委員をしています。地域社会では外国籍の住民が増えています。しかし、アパート暮らしの人が殆どで近隣との交際もままなりません。理由は、山形流の常識として一戸建てを基準とする町内会の正会員扱いという発想が邪魔をしているからです。

みなさんの居住する町内でも、役員人事等において、格差がある所も少なくないのではないのでしょうか。

特に旦那さんの方は日本語が理解できても、一緒に来日した妻はあまり日本語に堪能ではないため、買い物や子育てにも苦労が絶えないケースが増えてきています。児童福祉に携わる私は、何とかこういうケースの手助けをRCができないものかと思案しています。

山形の街にしながら、地域社会に外国籍の人たちを快く受け入れることが可能な街づくりができないものなのでしょうか。こういった課題に対する関心の濃淡にも年代格差を感じています。若年層はいろいろな国の人たちとの付き合いから世界的な視野を拓いているのですが、このクラブの会員と同世代の人たちは、どちらかといえば苦手な人が目立ちます。そのあたりをロータリアンとして対話を通じたDIEの大切さを実践していければと考えています。

会員の中でよいアドバイスをあれば是非とも教えていただきたいと思います。

幹事報告



菅生幹事報告

本日は足元のわるいなか例会に出席いただき誠に有難うございました。

本日は事業中間報告となっていますので、各委員長は発表をお願いします。

次週の第1648回例会は5グループのIMとして2月15日(土)に12名での参加となります。出席の方は宜しくお願いします。

表彰



ポールハリスマルチプル(2000\$)受賞
平吹 幸治郎

ニコニコBOX

森本美知子:何事もないことに。

荻野 武好:庄内で建設中の建物が竣工。頻回の片道2時間事故なく。

深瀬 俊路:中間報告まで会員諸兄のご協力に感謝。

菅生 勝則:事業中間報告に。

吉田 義尚:確定申告業務が順調に進むことを祈念して。

武田 正男:蔵王スキー場に今シーズン8回行き、10時間券2枚目を購入。

根本 元:会報委員会の皆様にご苦勞をかけています。

出席情報

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日	27名	—	15名	—